

料金後納

ゆうメール

(株)育脳寺子屋MAC 本部教室 MAC真成塾
〒616-8156 京都市右京区太秦西野町20
電話:(075)871-0374 FAX:(075)882-3777

2017年
8月号

Mathematics Abacus Chinese character

MAC NEWS

お子さんが大人になった時、社会で活躍できるヒントがいっぱい！！

MACが「忘れ物」に厳しい理由

～小学生だし忘れ物くらい良くない？～



「先生、〇〇持ってくるのを忘れました」

「しゃあないな。これからはそうならないように、事前に用意しておくんやで。はい、今日は帰ろう。さようなら」

ご存じのとおり、2年ほど前からMACでは忘れ物をしたら授業を受けずに帰らなければいけないというルールにしました。可愛い生徒たちにはいつもニコニコしていたいし、帰らせるのは心が痛いし、事故に遭わないか心配だし、本当はこちらもこんなことをしたくはないのです。

しかし、忘れ物をする生徒は本当によく忘れ物をします。以前は「次は忘れたらダメだよ」と言いながら貸し出ししていたのですが、それが続くと忘れ物に対して**悪いこと**という意識が無くなっていきます。

よく忘れ物をする生徒は、最初の頃は反省の色を見せながらばつが悪そうに忘れ物の

報告をしてくるのですが、そのうち悪びれる様子もなく笑顔で

「忘れまして～貸してください～」

と言うようになり、前も忘れたし今回はダメ！と言うと

「え～？前は貸してもらえました～(^o^)/」

と、全く反省しなくなります。これでは生徒のためにならないと、前塾長の猪飼先生と相談し、忘れ物をしたら授業を受けずに帰らなければならないというルールを決めました。

なぜ、そんなに忘れ物に厳しく対処するのか？

結論から言いますと、忘れ物をする子は「よい成績を取れない」ですし、「社会人になっても活躍できない」からです。そして忘れ癖はなかなか直りません。

先日ある親御さんと面談をした際に、

「学校では忘れ物をして本人は何も叱られていない。先日うちの子から連絡があって学校まで忘れ物を持って行きました。しかも、持って行った私にうちの子は『遅いし～』という始末。全く忘れ物をいけないことだと思っていないようです。なので、MACで忘れ物に対して厳しくして下さるのは本当に助かります。」

と、仰っていました。(あくまでこの小学校のこのクラスの話で、全ての学校・クラスで同じ対応を取られているわけではありません。誤解無きようお願いいたします)

小学校の間はそれが通用しても、中学校になると一気に状況が変わります。

中学校では各教科、小学校よりもより細かい観点のチェックにより成績がつけられます。その観点の中でも「忘れ物」「授業態度」の占める割合は非常に大きいように感じます。

昨年のお話ですが、ある生徒（中学生）が通知表を持ってきました。塾で履修している教科は90点以上の点数が続いていたので「5」を期待していたのですが、まさかの「3」だったのです。驚きを隠せず、

「あのテスト点でなぜこの成績なのか説明して」

と聞くと、やはり提出物でした。提出期限を過ぎてから提出したもの、提出物を紛失して提出自体をしていないものなどがいくつかあり、その成績がついたようでした。

その生徒には「せっかくの努力を自分自身で無駄にしてどうする！頑張っただけで勉強して90点以上の点数を続けているのに、3では頑張り甲斐がないでしょう。提出物でマイナスされるなんてもってのほか！以後、必ず期限は守るように！！！」

と厳しく指導しましたが、その後はどうでしょうか・・・。

このあたりの中学校では6月の3～4週あたりに1学期の期末試験がありました。各学校試験1週間前には「各教科の試験範囲表」が配られますが、ある中学校の範囲表には

『提出物忘れは大きく減点します。注意しましょう』

と、先生のコメントが書かれていました。

中学校は小学校に比べて教科も増えますし、配布されるプリントの数も比べものにならないほど増えます。小学生の間に「別に忘れ物してもいいわ～」と思っている生徒は、中学生になって忘れ物で痛い目に遭うのです。

当然、学生時代に「忘れ物」が多い人は大人になってからも忘れやすいのです。

皆さんご承知の通り、社会人になると同時進行で様々な仕事を進めていきます。その中でそれぞれに期日や納期があり、それを守らなければ信頼関係は築けませんし、下手をすれば損害賠償というような話にもなりかねません。「忘れ物をする」というのは仕事ができる云々以前の話なのです。

有名サッカークラブでの「忘れ物」への対応

先日あるテレビ番組で有名サッカークラブの特集をされていました。チーム名等詳細を忘れてしまったのですが、Jリーガーも輩出しているほどの有名クラブです。

その伝統あるクラブでは「忘れ物」をしたら、取りに帰るのもダメ、親に持ってきてもらうのもダメ、忘れたその日は練習や試合をコート横に立って見学する。(声出しをして、選手を応援する) というルールにされているのです。

そのようにされている理由は

「忘れ物をするということは、サッカーの練習や試合に対しての取り組み姿勢がいい加減な証拠。その様ないい加減な気持ちで練習や試合に参加して欲しくない。そんな姿勢で上達する訳がない」

と、監督は仰っていました。

これには私も大いに同感です。

スポーツでも勉強でも他の習い事でも、同じ練習(勉強)をしていても人によって結果は大きく変わります。そこには「才能」の差も当然影響しているでしょうが、それ以上に『取り組み姿勢』が大きく影響しているのだと思います。

真摯な姿勢で取り組みれば大いに吸収し、自分の力にできるでしょうし、逆であればある程度身につく力はあれど、すぐに限界が訪れます。

技術を磨くだけではなく『取り組み姿勢』を重視されているクラブだからこそ、有名選手も輩出するほどの強豪チームになるのだらうと感じました。

我が子の様々なことに対する『取り組み姿勢』はどうでしょうか？好きだから、しないといけないから「何となくしている」のか、先月号NEWSでも書いた「意図的な練習」ができているのか？今後の上達に大きく関わってくると思います。

MACでもサッカークラブに習って・・・

実は「忘れ物をした時には帰ってもらう」というルールは変更することに決めました。

忘れ物をして帰って家で反省し、次回から忘れ物に注意するようになる生徒もいるのですが、中には帰ったあと家でテレビを見ていたり、友だちと遊びに行ったりして、全く反省していないケースもあるようです（MACに通う他の生徒が律儀に報告してくれます 笑）

また共働きされているご家庭の場合、仕事を終え帰宅される時間がMACの授業終了時間より遅い時間なので、生徒が黙っていたら忘れ物で帰らされていても、それを把握できない場合も考えられます。

それらを踏まえ、今後は忘れ物をしたら

「90分間、じっと座って授業が終わるまで待ってもらう」

という形にします。実は最近も数名この方法を取らせてもらったのですが、やはりみんなが自学自習をしている中、何もせず90分間座っている表情を見ると、さすがに反省の色が見えます。何もすることができず、ただじっと座っているので、忘れ物をした後悔を感じているのだと思います。

そして、次回来たときには「もうあんなん嫌やし、忘れ物しないように確認してきた」と言っていました。その心がけがいつまで続くか怪しいものですが（笑）・・・

再度ここに書かせて頂きますが、MACが忘れ物に厳しいのは、忘れ物をした生徒に「罰」を与えるのが目的なのではなく、「忘れ物をしない子」になってもらうため、「忘れ物はいけない、もうしないようにしよう！」と自身で感じてもらうためです。ひいてはそれが成績の向上、社会で必要とされる人間になることに繋がると確信しています。

忘れ物に対する塾の思いに、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

なぜ忘れ物はいけないの!?

子どもだから忘れ物しても仕方ないじゃん! と思っている人がいるかも知れませんが、忘れ癖のある人は「しないよう」に心がけしないと、忘れ物をしないようになりません。その癖が直らないと後で自分が困りますよ〜。

「忘れ癖」のある人は、中学からず〜っと困ることだ!?

忘れ物をした時に「仕方ないなあ、はい貸してあげる」とか「じゃあ、横の人に見せてもらってね」と言ってもらえるのは小学生の間だけです。中学生になったら、忘れ物はしっかりと成績に反映されます。つまり、せっかく頑張ってテストで100点に近い点数を取っても、忘れ物をしてい人には、良い成績がつかないのです。

大人になって働き出すようになると、いろいろな仕事を同時にしますが、そこでもそれぞれの仕事に「期日」や「納期」というものがあります。それを忘れてしまつては仕事になりませんし、仕事仲間との信頼関係が築けません。そして会社に必要とされなくなつてしまいます。

忘れ癖のある人は、今のうちから直すように心がけましょう。

忘れ物をするということは、心構えができていない証拠だね。「別にいいか〜」という悪い心をなくそうね!!



偉人の名言

「人間が人間として生きていくのに一番大切なのは、頭の良し悪しではなく、心の良し悪しだ。」

～中村天風（思想家。日本初のヨーガ行者で天風会の創始者）～

自分の部屋の目立つところに貼って、読み返すようにしましょう。